

東京医療保健大学大学院看護学研究科シラバス2026									
科目番号	51025	分類		履修者	高度実践看護コース	学年			
科目名	臨床推論 (Diagnostic Reasoning)						1	1	
							配当人数	前期	
担当者	○浦中 桂一 他17名			区分	必修	単位	3	時間数	カリキュラム 90 特定行為研修（実時間） 研修対応時間 71.75
授業の概要および目標						学位授与の方針と関連			
【概要】 クリティカル領域の医療現場で対応が多い症状に応じて臨床推論を行う過程を理解し、それを裏付けるためのフィジカルアセスメントを行い、症状に応じた的確な臨床推論を行うための知識・技術を得得する。 【目標】 1. 症候ごとの臨床推論を理解する。 2. クリティカル領域の医療現場で対応が多い症状に対する的確な臨床推論ができる。						○ 1	クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力		
						○ 2	クリティカル領域における患者に必要な治療を遂行できる能力		
						○ 3	患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力		
						○ 4	専門職としての倫理的意思決定能力		
						○ 5	高度看護実践者として、数値的経時的な視点をもちつづマネジメント能力		
						○ 6	臨床実践に含む知能知を形式知へと転換する研究開発能力		
						○ 7	クリティカル領域における患者の危機的状態を支援する能力		
授業計画									
回	内容								担当教員
第1回	Ⅰ. 症候診断推論の考え方とプロセス								浦中 他17名
第2回	・診療のプロセス								
第3回	Ⅱ. 臨床推論のためのエビデンスに基づく方法								
第4回	・臨床疫学の理論と演習 1) 検査前確率とLR 2) 検査結果の解釈 など								
第5回	Ⅲ. クリティカル領域で遭遇する症状に対する臨床推論の								
第6回	1) 発熱								
第7回	・感染症の主要症候と主要疾患								
第8回	2) 腹痛（婦人科含む）								
第9回	・硬膜外麻酔の選択と投与量 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整の方法								
第10回	3) 嘔吐・下血・下痢								
第11回	・循環動態に関する局所解剖 ・循環動態に関する主要症候 ・脱水や低栄養状態に関する主要症候								
第12回	4) 胸痛								
第13回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
第14回	5) 呼吸困難								
第15回	・気管切開に関する局所解剖 ・気管切開を要する主要疾患の病態生理 ・気管切開を要する主要疾患のフィジカルアセスメント								
第16回	6) 浮腫								
第17回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 血液検査								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI								
第18回	・低栄養状態に関する局所解剖								
	・低栄養状態の原因と病態生理								
第19回	・低栄養状態に関する7項目の加減								
	・低栄養状態に関する検査								
第20回	7) めまい・耳鳴り								
第21回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 生理機能検査								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI								
第22回	8) けいれん・麻痺								
第23回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 その他の検査（髄液検査）								
第24回	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI								
第25回	9) 意識障害								
第26回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 微生物学検査								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI								
第27回	10) ショック								
第28回	・各種臨床検査の理論と演習 心電図								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/超音波検査/CT・MRI								
	・心臓ドレナージに関する局所解剖								
第29回	・心臓ドレナージを要する主要疾患の病態生理								
	11) 血糖値・電解質異常								
	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
第30回	・各種臨床検査の理論と演習 血液検査								
	・低栄養状態に関する局所解剖								
	・低栄養状態の原因と病態生理								
第31回	・低栄養状態に関する7項目の加減								
	・低栄養状態に関する検査								
第32回	12) 外傷								
	・創部ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント								
	・心臓ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント								
第33回	・心臓ドレナージの目的								
	・心臓ドレナージの適応と禁忌								
	・心臓ドレナージに伴うリスク（有害事象とその対策等）								
第34回	・心臓ドレナージの抜去の適応と禁忌								
	・心臓ドレナージの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等）								
	・心臓ドレナージの抜去の方法と手技								
第35回	13) 貧血・全身倦怠感								
第36回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 病理検査								
	・画像検査の理論と演習 放射線の影響								
第37回	・医療面接の理論と演習・実習								
第38回	14) 頭痛・ふらつき・しびれ								
第39回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 心電図/血液検査								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI/その他の画像検査（RI）								
第40回	15) 腰背部痛・関節痛・下肢痛								
第41回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 尿検査								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査								
第42回	16) 精神症状・認知障害								
第43回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 その他の検査（認知機能検査）								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI								
第44回	17) 発疹・その他の皮膚症状								
第45回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	・各種臨床検査の理論と演習 微生物学検査								
	・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI								
第46回	18) 小児に起こりやすい症状（発熱・下痢）								
第47回	・臨床推論（症候学を含む）の理論と演習								
	20) 排泄障害								
	・腎ろう・腸ろう及び膀胱ろうを要する主要疾患の病態生理								
第48回	・腎ろう・腸ろう及び膀胱ろうを要する主要疾患のフィジカルアセスメント								
	・カテーテル留置と患者のQOL								
	・カテーテルの感染管理								
事前・事後 学習	・カテーテル留置に必要なスキニング								
	事前学習：当日の課題に關し参考図書の内容を予習し理解して授業に参加する。								
	事後学習：授業の内容を配布資料と参考図書等で復習する。								
評価の方法	単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み組むこと。								
評価の方法	課題レポートにて評価する。この他に筆記試験および観察評価を行う。フィードバックは適宜行う。								
参考図書・ 資料等	◎1) 高見 英太 監修：シェナラリストのための内科診断リファレンス、医学書院								
	2) シルビア・C・マッキーン他：病院勤務医の技術-ホスピタリスト養成講座-、日経BP社								
	3) S. スターン他：考える技術 診療でエビデンスを使いこなす、日経BP社								
	4) デヴィッド L サイメル、ドルモンド レニー 著：JAMA版 臨理的診療の技術、日経BP社								
備考	◎は授業の必須図書ですので、購入していただきます。								
	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整を行う。								